



ハンドハイジーン研究会  
Good Hand Hygiene

# NEWS LETTER

vol.03

## 持続可能な手指衛生改善の取り組み

独立行政法人国立病院機構  
下志津病院  
森野 誠子



### アウトブレイクを機に本格的な取り組みへ

当院では2011年に感染制御チーム(ICT)を発足し、手探りの状態で手指衛生の推進を開始しました。しかし、2013年から2014年にかけて耐性菌のアウトブレイクを経験し、これを契機に「WHO手指衛生自己評価フレームワーク(HHSAF)」を用いて自施設の評価を実施した結果、手指衛生レベルは「不十分」であることが明らかとなりました。

### WHO戦略の導入とハンドハイジーンチャレンジへの参加

2014年度より、WHOの「手指衛生多角的戦略」を病院全体で導入しましたが、戦略の立案においては「どこから、どのように」取り組むべきか悩むことも多くありました。そこで、「ハンドハイジーンチャレンジ(ハンドハイジーン研究会の前身イベント)」に参加し、堀先生、吉田先生、藤田先生から日本の文化的背景を踏まえた、効果的かつ具体的なアドバイスを伺いました。

これらの助言により、自分たちの活動を深く見つめ直す契機を得ることができました。また、他の参加施設の取り組みに学びながら、当院に適した戦略の立案と展開を進めることができました。

### 組織的な体制整備と上層部の巻き込み

ハンドハイジーンチャレンジでは、まず「病院としての組織的な体制整備」や「推進力のあるアプローチ」に重点が置かれました。手指衛生を病院全体の取り組みとして位置づけるための方法や、病院長をはじめとする上層部への働きかけについても具体的な助言をいただきました。

これは、WHO戦略の「5の要素：HHSAF5.2(施設の管理者による支持表明)」の実践を後押しする、大きな支援となりました。

### 質的・量的評価の実施とアプリの活用

さらに、WHO戦略の「3の要素：HHSAF 3.3~3.5」に関連する質的・量的評価の手法を学ぶ中で、手指衛生観察アプリ「F-moments」を導入しました。F-momentsは、

編集・発行：ハンドハイジーン研究会  
事務局：株式会社 Grammy moment  
住所：〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1  
TEL:03-6452-9411 FAX:03-6452-9417  
E-mail:info@goodhandhygiene.jp  
URL:goodhandhygiene.jp



ハンドハイジーン研究会  
Good Hand Hygiene

直接観察に不慣れなICTメンバーにとっても使いやすく、入力と同時に自動集計が可能な画期的ツールとして、現在も重宝しています。

このアプリの活用により、各部署の課題を可視化し、改善の余地を明らかにしてフィードバックすることが可能となりました。またこれらの直接観察結果を分析することで、病院全体でのキャンペーン計画の立案も円滑に進めることができました。

F-momentsは、WHOガイドラインに準拠した観察記録用紙とほぼ同等の記録が可能であり、瞬時に集計できるため、「HHSAF 3.5a (即時フィードバック)」の実現にも大きく貢献しています。

## 毎年の「戦略的なサイクル」を支える発表の機会と継続的な支援

ハンドハイジーンチャレンジでは、半年ごとの相談会が設けられ、3年間を一区切りとする継続的な取り組みの構造が整えられていました。この定期的な報告が、WHO戦略で提示される「5つのステップ」による(PDCAに類似した)サイクルを毎年着実に回し続けるためのペースメーカーとして機能しました。

また、施設の規模や機能に応じた個別の

助言を受ける中で、「やらなければならないが、できない理由」に自ら気づかされる場面も多くありました。こうした実践的かつ的確な支援を通じて、手指衛生推進活動を日本の医療機関に適応・定着させるための具体的な手がかりを得られたと感じています。

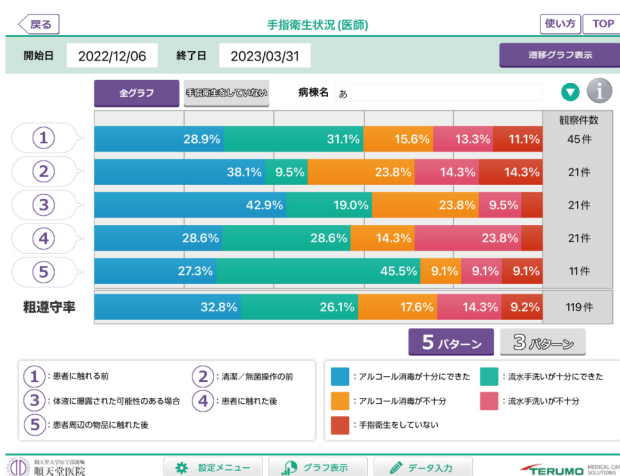
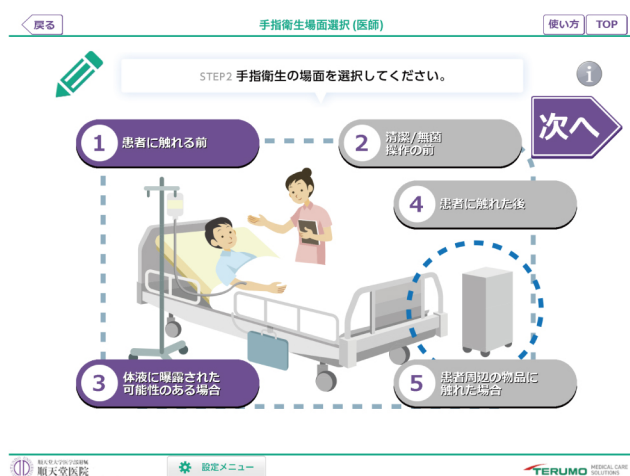
## 持続可能な文化の定着へ

他施設の取り組みやそれに対する助言を知ることは、自施設の課題を客観的に見つめ直す機会にもなり、新たな視点や有用なアイデアに出会うことができました。

WHO手指衛生多角的戦略を導入しながらハンドハイジーン研究会に参加し、12年目を迎えた現在、当院では手指衛生の取り組みが現場に根付き、持続可能な改善活動として定着しています。一緒に取り組む仲間の存在や、外部からの継続的な支援は、大きな励みであり、活動継続の原動力となっています。うまくいった理由、あるいはうまくいかなかった理由も率直に共有しながら、前向きに取り組むを進められる環境こそが、当院の「手指衛生文化」を着実に育て上げていると実感しています。

## F-momentsの特徴

F-momentsは、ICT(感染制御チーム)などの組織で感染対策活動を実施されている施設を対象に、順天堂大学大学院感染制御科学 堀 賢 先生の発案・監修で開発されました。iPadタブレット端末で、WHOガイドラインに即した質的評価が簡便にできます。職種・病棟毎の集計データを出力できるため、即時フィードバックに役立つと共に長期的な質的評価の記録も可能です。



順天堂大学  
順天堂医院

TERUMO  
MEDICAL CARE  
SOLUTIONS

順天堂大学  
順天堂医院

設定メニュー

グラフ表示

データ入力

TERUMO  
MEDICAL CARE  
SOLUTIONS

ダウンロードはこちらから

iPad、iPad pro、iPad mini、iPad Air、App Store、Appleロゴ、iTunesは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

